

## 家畜生理

講師名	川畑 洋	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、家畜の生理生態を理解し、生産管理に必要な基礎知識についての講義を担当している。			
科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・共通	必修	1	後期	30	2
使用教科書・副教材	自作プリント					
授業の目的	家畜の生理生態を理解し、生産管理に必要な基礎知識を学ぶ。					
授業の到達目標	家畜の生理に基づいた家畜の管理手法について理解し、実際の飼養管理に生かすことができるようになる。					
月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)	
9月6日	体液の構成 血液の性状Ⅰ	体液の構成、血液の一般性状Ⅰ	2	講義		
9月14日	血液の性状Ⅱ	血液の一般性状Ⅱ、赤血球の性状、白血球の性状、血小板	2	講義		
10月4日	筋肉の機能 肢蹄の構造と機能	筋肉の構造、筋肉の機能、収縮のしくみ 四肢の構造、趾端の構造、蹄の構造と機能	2	講義		
10月11日	循環	循環、心臓の構造と機能、血管の構造と機能、リンパ	2	講義		
10月12日	腎臓の機能	腎臓の構造と機能、尿の生成、腎臓における恒常性維持	2	講義		
12月7日	消化・吸収のしくみⅠ	消化と吸収、口腔内の消化、胃消化	2	講義		
12月13日	消化・吸収のしくみⅡ	反芻胃消化、小腸内消化、大腸内消化	2	講義		
12月20日	代謝のしくみⅠ	栄養素と代謝、エネルギー代謝	2	講義		
12月22日	代謝のしくみⅡ	炭水化物の代謝、蛋白質の代謝、脂質の代謝	2	講義		
1月18日	神経の機能	内部環境の調節機構、神経系の分類、神経細胞の構造と情報の伝達	2	講義		
1月26日	内分泌	ホルモンの種類と調節機構	2	講義		
2月1日	呼吸Ⅰ	呼吸と呼吸運動、呼吸運動の調節	2	講義		
2月3日	呼吸Ⅱ	呼吸によるガスの運搬と交換	2	講義		
2月8日	体温調節及び適応	家畜と環境、熱生産性、熱放散、体温調節作用、適応	2	講義		
2月14日	まとめ	家畜の生理について復習し、理解を深める	2	講義		
合計			30	時間		
成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)						
テストの得点、受講態度、レポート等の提出物の内容、出席状況を勘案して総合的に評価する。 評価割合:筆記試験:70%、平常点30%(小テスト、学習態度、出席状況)						
履修に当たっての留意点等						
授業は自作プリントに沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。						